

岩手山火山防災マップ

〈西側で水蒸気爆発、東側でマグマ噴火が起きた場合〉

このマップは岩手山の過去の噴火に関する調査をもとに作成したものです。今後岩手山で想定される噴火について多くの方に知っていただき、一般家庭や観光施設をはじめ、関係機関での防災に役立てていただくことを目的としています。西側では約3,200年前の水蒸気爆発、東側では1686年のマグマ噴火と同じ規模の噴火が発生した場合を想定して、災害予想区域を表示しています。ただし、実際の噴火ではこの図と異なる場合もありますので、噴火の状況に即した対応が必要となります。

番号	避難場所	対象地区名	連絡先
1-1	城北小学校体育館	月が石の一部	019-641-0187
1-2	龍川中学校体育館	西側山の一部	019-683-2353
1-3	青山小学校体育館	西側山の一部	019-647-6120
1-4	大森小学校体育館	龍崎町・中庭町・大庭町	019-647-7531
1-5	土浦小・中学校体育館	奥瀬町・平賀町・上郷1部	019-647-4760
1-6	大岩地区コミュニティセンター	大岩の一部	019-683-2116
1-7	八幡平市コミュニティセンター	八幡平の一部	019-76-2989
1-8	小岩地区コミュニティセンター	小岩・龍崎水・下郷2部	019-683-2116
1-9	大岩地区コミュニティセンター	大岩の一部	019-683-2116
1-10	遊佐公民館(新神ホール)	下郷・川崎の一部	019-683-2354
1-11	遊佐小学校体育館	下郷・川崎の一部	019-683-2354
1-12	五山地区コミュニティセンター	五山・山崎の一部	019-683-2343
1-13	舟形2地区コミュニティセンター	山形・舟形の一部	019-683-2116
2-1	八幡平市立中学校	八幡平	019-683-2324
2-2	西山小学校	西山	019-683-2321
2-3	西山小学校	小岩(西側山崎)	019-692-2224
2-4	町田中学校	龍崎、龍花、龍崎町、五岳	019-692-6030
2-5	栗石小学校	龍山(龍山川沿い)	019-692-2203
2-6	中央公民館	龍山(龍山川沿い)	019-692-4181
2-7	七ツ谷小学校	龍崎町、龍山(龍山川沿い)	019-692-0571
3-1	東沢小学校	龍一・本木自治会の一部	019-688-4872
3-2	滝沢第二中学校	龍一・本木自治会の一部	019-683-4907
3-3	滝沢小学校	龍一・本木自治会の一部	019-688-6602
3-4	滝沢第二小学校	龍一自治会の一部	019-688-4002
3-5	滝沢小学校	滝沢中央自治会の一部	019-687-2314
3-6	滝沢中学校	滝沢中央自治会の一部	019-684-1271
3-7	滝沢総合体育館	滝沢、花井中央自治会の一部	019-687-3311
3-8	龍崎小学校	滝沢中央自治会の一部	019-687-2004
3-9	ビッグラフ滝沢	滝沢中央自治会の一部	019-656-7811
3-10	滝沢中学校	滝沢中央自治会の一部	019-687-3311
3-11	龍崎小学校	龍崎、龍山自治会の一部	019-687-2004
4-1	滝沢中学校	上平野、中平野、下平野、南平野	019-76-3530
4-2	大岩コミュニティセンター	大岩	019-76-4006
4-3	大岩小学校	大岩	019-76-2239
4-4	大岩大蔵小学校	大岩	019-76-2111
4-5	八幡平市立中学校	八幡平	019-76-2111
4-6	西側山地区公民館	西側山	019-76-2111
4-7	龍崎コミュニティセンター	龍崎、龍花	019-76-2531
4-8	平賀コミュニティセンター	平賀	019-76-2040
4-9	平賀公民館	龍崎、中庭、龍崎町、龍崎	019-76-2810
4-10	平賀小学校	上平野、南平野の一部	019-76-2216
4-11	西郷第一中学校	大森、山崎	019-76-2514
4-12	青田小学校	八幡平・龍崎の一部	019-77-2323
4-13	龍崎小学校	龍崎	019-76-3408
4-14	八幡平市立中学校	八幡平・龍崎、龍花、龍崎町	019-76-2003

【避難の際の留意事項】
噴火が発生した場合、その影響により河川の氾濫が想定されることから、避難用アンダーパス等の利用には十分注意するとともに、危険な場合は反対方向へ避難すること。

- 【噴火に備えて】**
避難の際には日頃から準備が大切です。非常用持ち出し品(リュックに収めておく)、避難場所と緊急連絡先をチェックしておきましょう。
- リュックバック
 - 飲料水
 - 懐中電灯
 - 応急医薬品
 - 多機能防災ラジオ
 - 食料(水)
 - 貴重品(現金・通帳・印鑑など)
 - 携帯電話・充電器
 - 地図
 - 火災保険証
 - 貴重品(現金・通帳・印鑑など)
 - ヘルメット
 - マスク
 - フラッシュライトのコンパ
 - 十徳ナイフ・缶切り
 - ゴール
 - 大判のビニール袋
 - マッチ・ライター
 - ロープ
 - タオル

わが家の避難場所は

●過去にはこのような岩屑なだれ(山くずれ)も起きています。

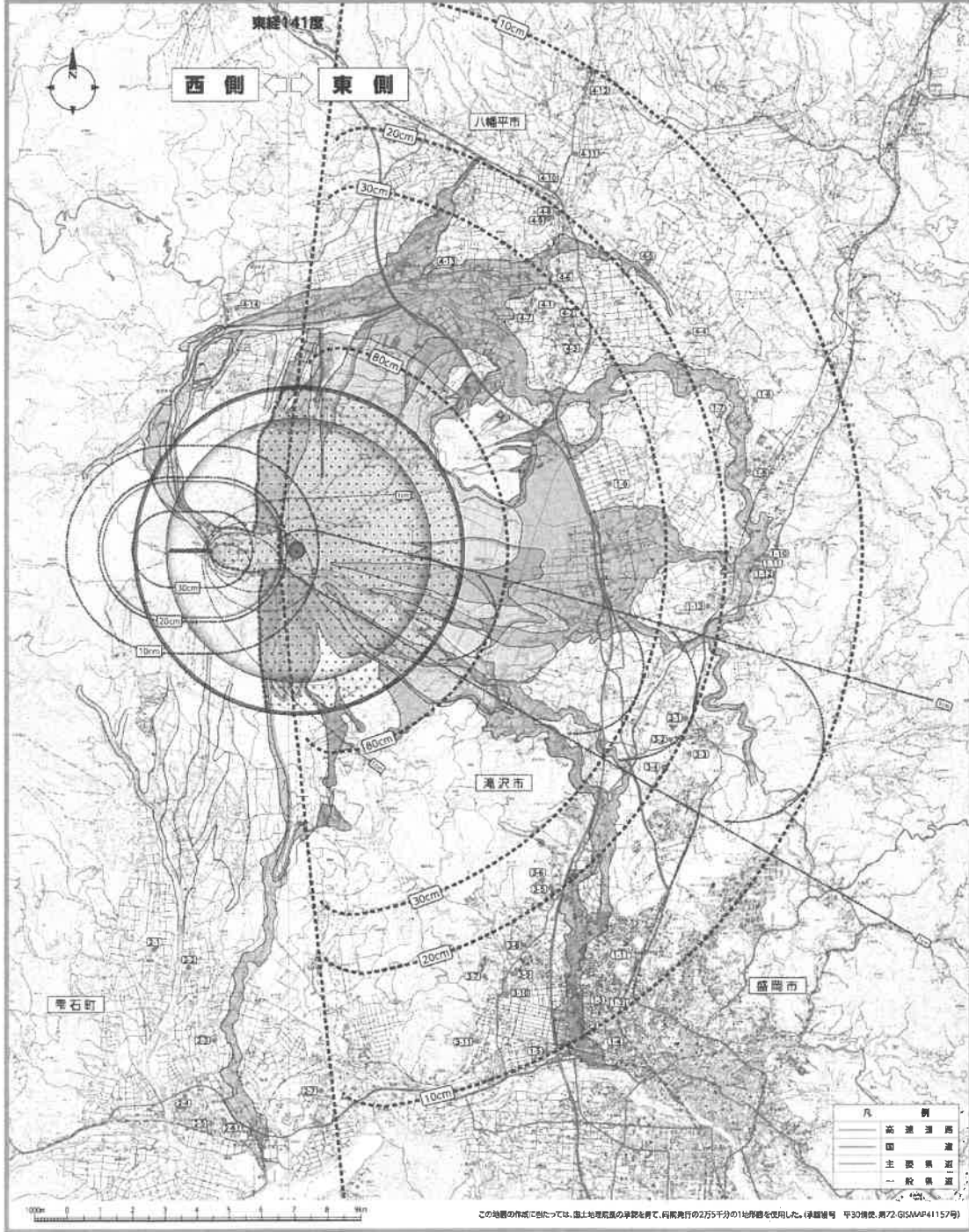


岩手山は過去に何度も噴火(せんげん)が繰り返され、大規模な噴火が発生しました。平成10年(1998年)には約3,200年前の水蒸気爆発が、大規模な噴火の一つとして、噴出した土砂は遠くは龍崎町を包囲する範囲にまで到達しています。また、平成10年(1998年)には約15～1686年の間に噴火は小さいものの、一帯で岩屑なだれが発生しています。

資料：資料(1001)、資料(1002)、資料(1003)、資料(1004)

防災マップの問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所
 電話 TEL 019-624-3131 (岩手第一課)
 岩手県 防災センター(防災対策課)
 電話 TEL 019-651-4111 (岩手県防災センター)
 八幡平市 防災センター(防災対策課)
 電話 TEL 0195-74-2111 (防災対策課)
 滝沢市 防災センター(防災対策課)
 電話 TEL 019-684-2111 (防災対策課)
 龍崎町 防災センター(防災対策課)
 電話 TEL 019-692-2111 (防災対策課)



避難場所	想定火口	大きな噴石	降灰	火砕流	火砕サージ(爆風)	溶岩流	土石流	火山泥流
	西側 東側	西側 東側	西側 東側	東側		東側	西側 東側	東側
●	— ●	○ ●	☁	☼	○	☾	☼	☼
予惑される火口位置	大きな噴石が飛んでくる危険性のある範囲	火山灰が降り積もる厚さ(cm)	火砕流が到達する危険性のある範囲	火砕サージが到達する危険性のある範囲	溶岩流が流れ下る危険性のある範囲	土石流が流れ下る危険性のある範囲	噴火時に火砕流が発生した場合は、土砂が落ちて下る危険性のある範囲	

※ 風向・地形条件等で、到達する方向は変わります。図に示したすべての範囲に到達するわけではありません。

平成10年10月 監修：岩手山火山災害対策検討委員会
 発行：国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所、岩手県、盛岡市、雫石町、西根町、滝沢市、松尾村、玉山村
 平成31年3月 改訂：岩手山火山防災協議会

【裏面も要参照】

岩手山の噴火警戒レベル

種類	名称	対象範囲	火山活動の状況	自然史的噴火及び噴火警戒レベルの名称	警戒レベルの概要
特別警戒	噴火警戒レベル5(特別警戒)	居住地域及びその近隣、火口周辺	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生するおそれがある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●噴火警戒レベル5または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達するおそれがある。 1686年の噴火：岩手山山腹で噴火。火砕流が川沿いに北上し、河川下流に到達。河川一本も区別がつかない。居住地域一帯が火砕流に覆られた。 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生
		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生するおそれがある(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。 警戒が必要な居住地域に避難等が必要。	●噴火警戒レベル5または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達するおそれがある。 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生	
警戒	噴火警戒レベル3(火山噴出)	火口から500m以内	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生するおそれがある(可能性が高まっている)。	火口から居住地域近くまでの避難への立入規制等。 状況に応じて避難準備等が必要。 警戒が必要な居住地域に避難等が必要。	●噴火警戒レベル3または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達するおそれがある。 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生
		火口周辺	火口周辺に被害を及ぼすおそれがある(可能性が高まっている)。	火口周辺への立入規制等。 但し山腹は火口から立入規制。 居住者は避難等が必要。	●噴火警戒レベル3または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達するおそれがある。 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生
予備	噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)	火口内	火山活動は静穏。	状況に応じて火口への立入規制等。 ●火口内でも噴火や山崩れが発生	●噴火警戒レベル1または火砕流・火砕サージが居住地域まで到達するおそれがある。 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生 ●火砕流の発生

※1) 火口内、噴火警戒レベル1(活火山であることに留意)の範囲は、噴火警戒レベル2(火口周辺)の範囲から火口内までを指す。
※2) 警戒レベル3(火山噴出)の範囲は、噴火警戒レベル2(火口周辺)の範囲から火口内までを指す。

噴火が起きたら、起きそうになったら


大きな噴石

大きな噴石の多くは火口から数km程度以内に落下するため、火口から十分に離れた場所でも安全です。岩手山に近づかないようにしてください。



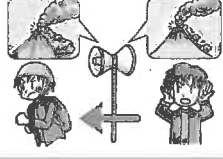
溶岩流

溶岩流は一般に速度が速く、徒歩でも逃げる可能性があります。落ち置いて、到達範囲の外に避難してください。



火砕流・火砕サージ

火砕流・火砕サージは高速(時速100km以上)で流れるため、発生してから避難はほとんど困難です。噴火の危険性が高い状況になったら、火山噴出などに十分注意し、速やかに到達範囲の外に避難してください。万が一、避難が遅れた場合は、少しでも高台の物陰に隠れてください。




高台の物陰に避難

到達範囲の外に避難




避難時の心得

避難するときには、市役所・町役場から発表される避難勧告や指示に従って落ち着いて行動しましょう。



- ヘルメットが防炎ずきん
- ゴーグル
- マスク
- 長靴
- 風スポン
- 運動靴

- 1 気象台が発信する警報・情報に注意しましょう。
- 2 テレビやラジオ、メールサービスやアプリ、行政機関の広報などから、正しい情報を入手しましょう。
- 3 誤った情報に惑わされないように注意しましょう。
- 4 避難の際には肌の露出を極力避けた服装を着用しましょう。
- 5 動きやすい服装、靴にしましょう。



- 軽やかな服装
- コースカード
- ザップシューズ
- かかとが深い靴

非常用持ち出し品(例)

家族構成などに合わせて準備しましょう。

必要な物

- リュックザック
- 衣料品
- 多機能携帯ラジオ
- 懐中電灯
- 応急医薬品
- 食料品・水
- 貴重品(現金・運転・印鑑など)
- 健康保険証
- 携帯電話・充電器

おとなと便利な物

- ヘルメット
- マッチ・ライター
- ロープ
- 十文字ナイフ・缶切り
- プラスチック製のコップ
- 大小のビニール袋
- マスク
- ゴーグル
- ロープ
- タオル
- ノイッスル

赤ちゃんがいる場合

- 母乳瓶
- 紙おむつ
- ミルク

お年寄りがいる場合

- 看護・介護用品
- 救急薬
- 紙おむつ

土石流


土石流は雨により発生し、高速(時速50km程度)で流れるため、噴火後、台風の接近など、おそれおろか大雨が想定される場合には、土石流の到達範囲から避難してください。万が一、避難が遅れた場合には、沢から離れた少しでも高いところに避難してください。



火山灰などの降下

火山灰がたくさん積もった場合には、車風がつかれないよう、屋根の上の火山灰を除去してください。

降灰による災害：降り積もった火山灰・スコリアなどの厚さと窓枠の自重(積もっているだけ、影響がさらに大きくなります。)



1m

50cm

20-30cm


10cm

5cm

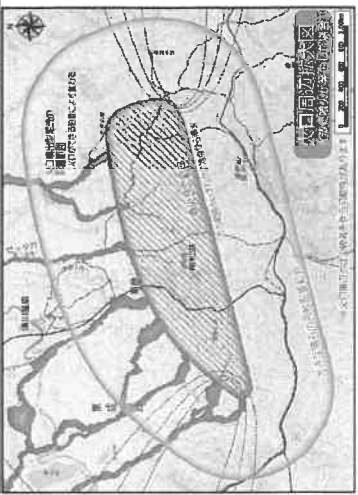
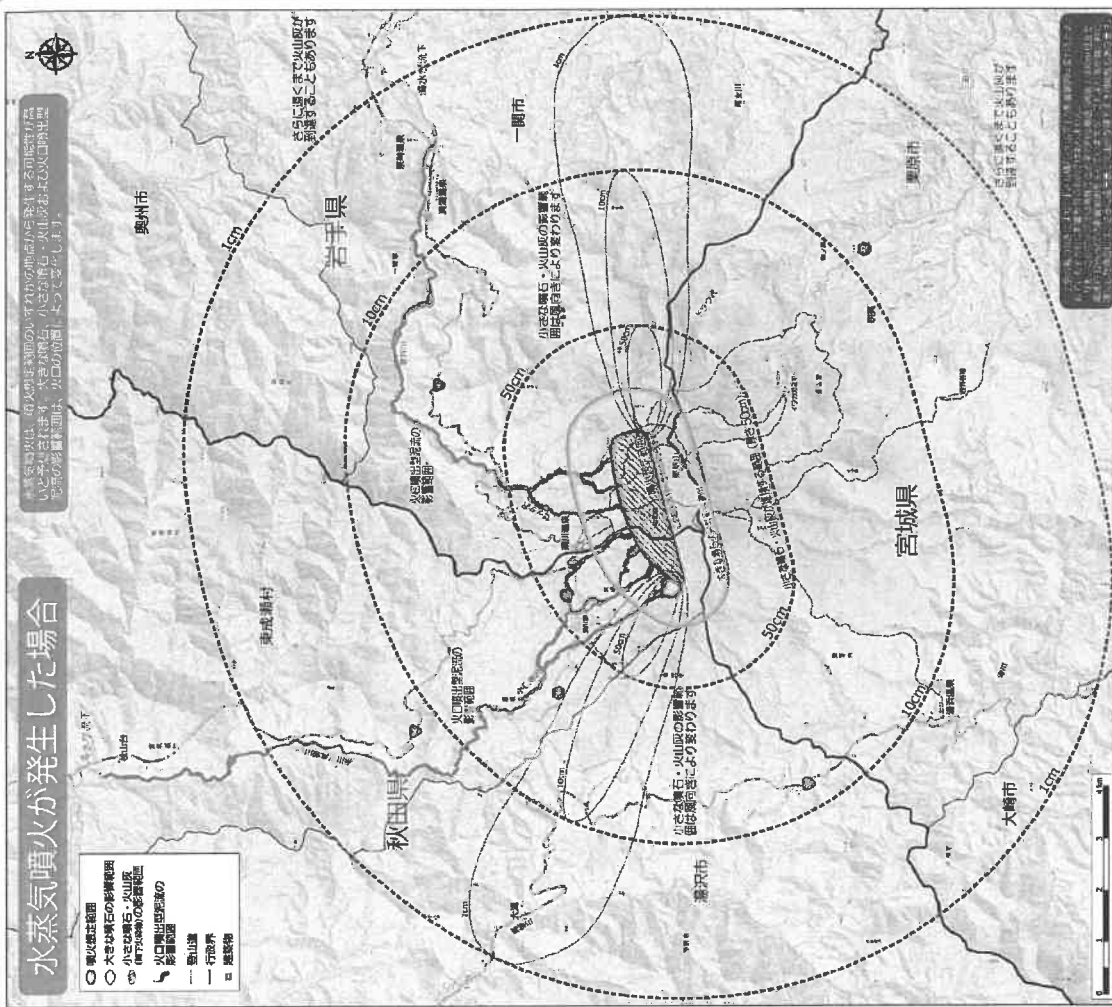
2cm

- ：ほとんどの木造家屋が倒壊します。
- ：半分以上の木造家屋が倒壊します。
- ：多くの木造家屋などに被害が及ぶ。
- ：窓枠が壊れるなど、被害が及ぶ。
- ：倒壊する。交通機関に被害が及ぶ。
- ：雨・風・のどなどの被害を受ける人が多く見られます。

少量でも、火山灰が降り出したら、タオルやマスクなどで顔に送らないようにしましょう。また、帽子を着用しましょう。呼吸器でも息に軽くなることありますが、火山灰で死傷することはありません。冷静に行動してください。



水蒸気噴火が発生した場合



作成：栗駒山火山防災協議会 発行年月：平成30年3月
 栗駒山火山防災協議会 事務局 電話：018-690-5155 018-690-5156 018-690-5157 018-690-5158 018-690-5159
 018-690-5160 018-690-5161 018-690-5162 018-690-5163 018-690-5164 018-690-5165 018-690-5166 018-690-5167 018-690-5168 018-690-5169 018-690-5170

栗駒山火山ハザードマップ 1/2

噴火の種類

どのような噴火が起きるか？

マクマ噴火

地下から上昇してきたマグマが地表へ噴出して発生する噴火

水蒸気噴火

マグマによって加熱された地下水が地殻内に沸騰して発生する噴火

噴火想定範囲

どこから噴火するか？

過去に噴火した地点を含む範囲を、水蒸気噴火とマクマ噴火に分けて噴火想定範囲として想定しています。

水蒸気噴火は、これら噴火想定範囲のいずれかの地点から噴火が発生する可能性があります。

噴火したときに発生する現象

普段から注意が必要

火山ガスの発生

噴火の際には、火山ガスが発生します。人体に有害な火山ガスが周囲に発生しています。火山ガスは、風向によって周囲に広がります。

大きな噴石

噴火の際には、大きな噴石が落下します。火山口から最大4km程度まで飛散します。

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

水蒸気噴火

地下から上昇してきたマグマが地表へ噴出して発生する噴火

水蒸気噴火

マグマによって加熱された地下水が地殻内に沸騰して発生する噴火

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

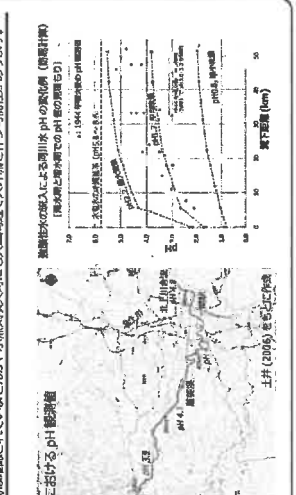
噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。



噴火したときに発生する現象

水蒸気噴火

地下から上昇してきたマグマが地表へ噴出して発生する噴火

水蒸気噴火

マグマによって加熱された地下水が地殻内に沸騰して発生する噴火

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

噴火したときに発生する現象

火砕流・火砕サージ

噴火の際には、火砕流や火砕サージが発生します。火砕流は、火山口から斜面を滑り落ちてきます。火砕サージは、火山口から上空に噴き出します。

融雪崩・火砕泥流

噴火の際には、融雪崩や火砕泥流が発生します。融雪崩は、積雪が崩壊して発生します。火砕泥流は、火山灰と水が混ざって発生します。

